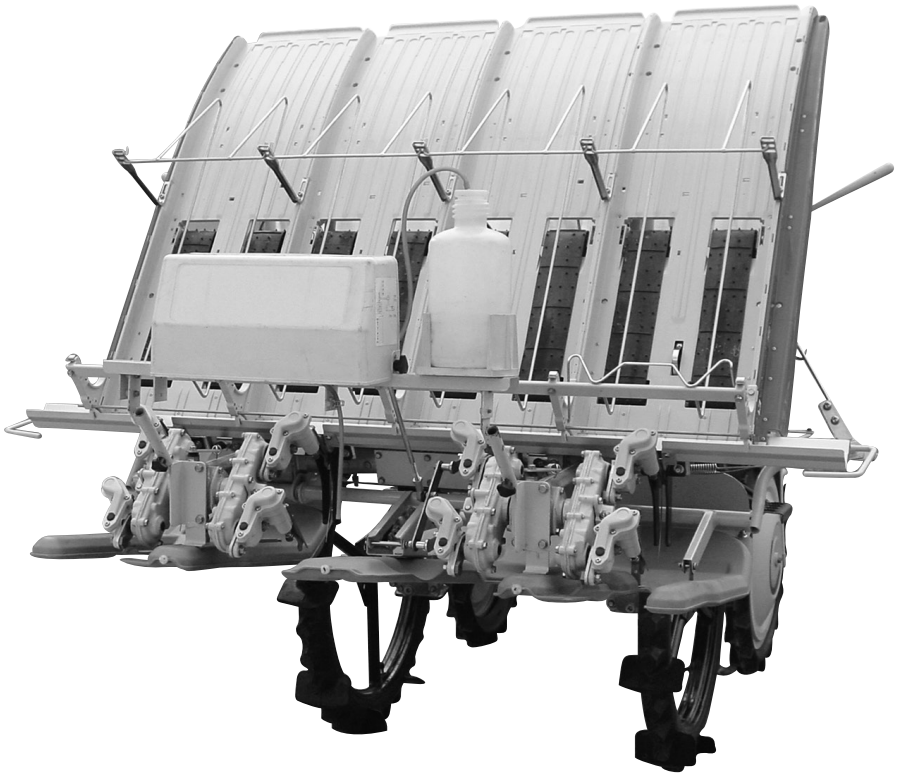
滴下マン

（除草剤散布機）

取扱説明書

MLS-V4V8



［田植機４条型に滴下マンを装着］

ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

このたびは除草剤散布機「滴下マン」をお買いあげいただきありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかたと簡単なお手入れおよび守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用まえにこの取扱説明書と合わせて乗用田植機の取扱説明書をよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
・また，この機械を貸与または譲渡される場合は，この取扱説明書と合わせて乗用田植機の取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。
・なお，この機械の品質・性能向上あるいは安全のために，使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストなどの一部が，機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ねがいます。

●もくじ

ご使用まえに ……1
1．保証とサービスについて…… 1
2．除草剤を使用する場合の注意点…… 1
仕様・各部のはたらき ……2
1．主要諸元…… 2
2．特長…… 2
3．各部のはたらき…… 2
取付けかた ……4
1．キット部品の明細…… 4
2．取付要領…… 4
1．駆動部組立品の取付け…… 4
2．滴下マン組立品の取付け…… 5
3．駆動関係の接続…… 5
4．組立後の確認…… 5
作業のしかた ……6
1．機械の調節…… 6
2．滴下量の調節…… 7
3．滴下作業のしかた…… 8
手入れのしかた ……8
1．毎日の使用後の手入れ…… 8
2．格納時の手入れ…… 8

ご使用まえに

1．保証とサービスについて

・この機械の保証は装着田植機の保証書で行います。ご使用まえによくお読みください。
・なお，栽培に係る保証はいたしません。（播種・施肥・防除設計等については地区の指導機関にご相談ください。）
・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「**お買いあげ先**」にご相談ください。その際，装着田植機の「**型式**」・「**機械番号（製造番号）**」・「**エンジン番号**」と除草剤散布機の「**機械番号**」をお知らせください。

2．除草剤を使用する場合の注意点

❶　除草剤の選定

⑴　除草剤散布機（以下，散布機という）で，田植えと同時に除草剤を散布する場合，除草剤の選定にあたっては次のことに注意してください。

①　都道府県の「**除草剤の使用基準**」にあがっている除草剤の中から，「**田植え直後～□日まで**」と記載されている初期一発剤又は初期剤の内「**田植え同時処理可能な除草剤**」（**フロアブル剤**）を選んでください。

「**田植え後□日～□日まで**」という薬剤は，薬害のおそれがあるので使用しないでください。

②　除草剤の容器に記載の使用方法を必ず守ってください。

⑵　田植えと同時に散布できる除草剤でも，ガス発生田や漏水田，黒ボク土壌，砂壌土の水田では使用できない薬剤がありますのでご注意ください。

⑶　地域によってほ場条件や気象条件が異なりますので，薬剤の選定にあたっては最寄りの指導機関に相談いただくか，各都道府県の指導方針に従ってください。

❷　一般的な注意事項

⑴　健苗を使用し軟弱苗の使用を避けてください。
⑵　田面が均平になるように整地し，田面が水面上に出ているところがないようにしてください。
⑶　ほ場表面は硬くならないようにしてください。（泥を指でかいてみて跡が少しふさがる程度が適当です。）
⑷　浅水で植えてください。
⑸　浮苗，浅植えにならないように適正植付け深さを守ってください。
⑹　田植え後，静かに水を入れ，少なくとも３～４日は水を落とさないようにして漏水に注意し，掛け流しは避けてください。
⑺　雑草の発生状況を絶えず見て，体系処理するかどうか判断してください。

❸　散布後の管理

適正な薬剤を使用し適正に散布しても，その後の管理によっては薬害が出る場合がありますので，薬剤のラベルに記載されている水田の管理事項は必ずお守りください。

❹　薬剤の取扱い

薬剤のラベルに記載されている使用方法・用量や取扱い注意事項を厳守してください。

⑴　薬剤の取扱い時や作業時は，防塵マスク，保護メガネ，ゴム手袋などを着用し，薬剤が身体にかからないようにしてください。
⑵　薬剤は，小児の手のとどかない所で容器のふたを固くしめて保管してください。

仕様・各部のはたらき

1．主要諸元

名　　称	滴下マン
型　　式	MLS－V4V8
適用田植機	4条型・8条型（ロータリ植付方式）
散布方式	田植機装着，植付速度株間連動滴下方式
機体寸法	L685㎜×W200㎜×H425㎜（装備状態：駆動部を除く）
質　　量	4.2kg
ポ　ン　プ	一連チュービングポンプ
ポンプチューブ材	シリコンゴム
滴下方式	2株植付毎に間欠滴下
散布量	500㎖／10ａ（チューブ内径φ5㎜）
	1,000㎖／10ａ（チューブ内径φ7㎜）
適用株間	11～28㎝
タンク容量	2Ｌ

2．特長

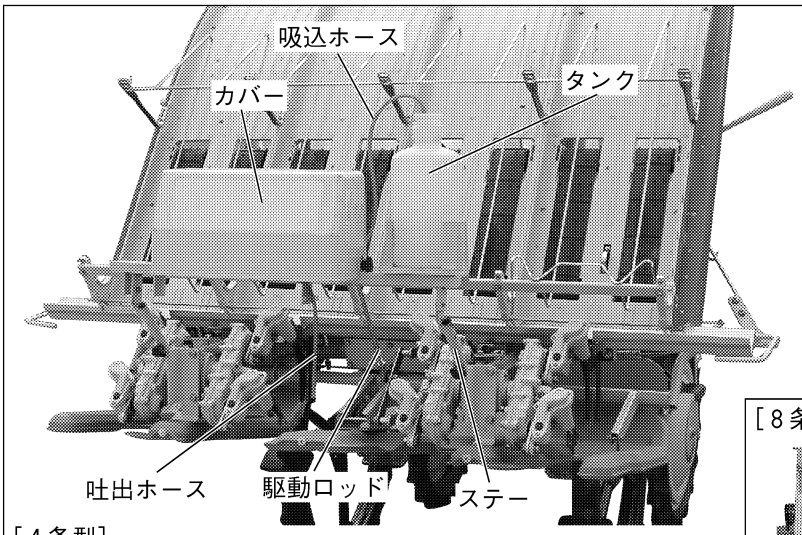
⑴　田植えと同時に初期剤，初期一発剤等のフロアブル剤を原液散布することで田植時の省力化と大幅な作業時間の低減を図ることができます。

⑵　田植と同時に除草剤散布ができるので代かき後の落水時の水質汚濁などの環境問題の発生を防止します。

⑶　植付速度に連動した調量機構により均一作業を可能にしました。

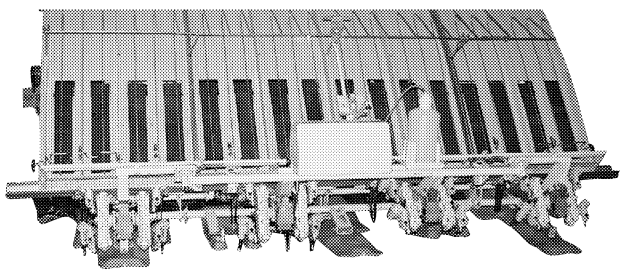
⑷　２Ｌタンクで40ａは補給なしに作業ができます。（散布量500㎖／10ａの場合）

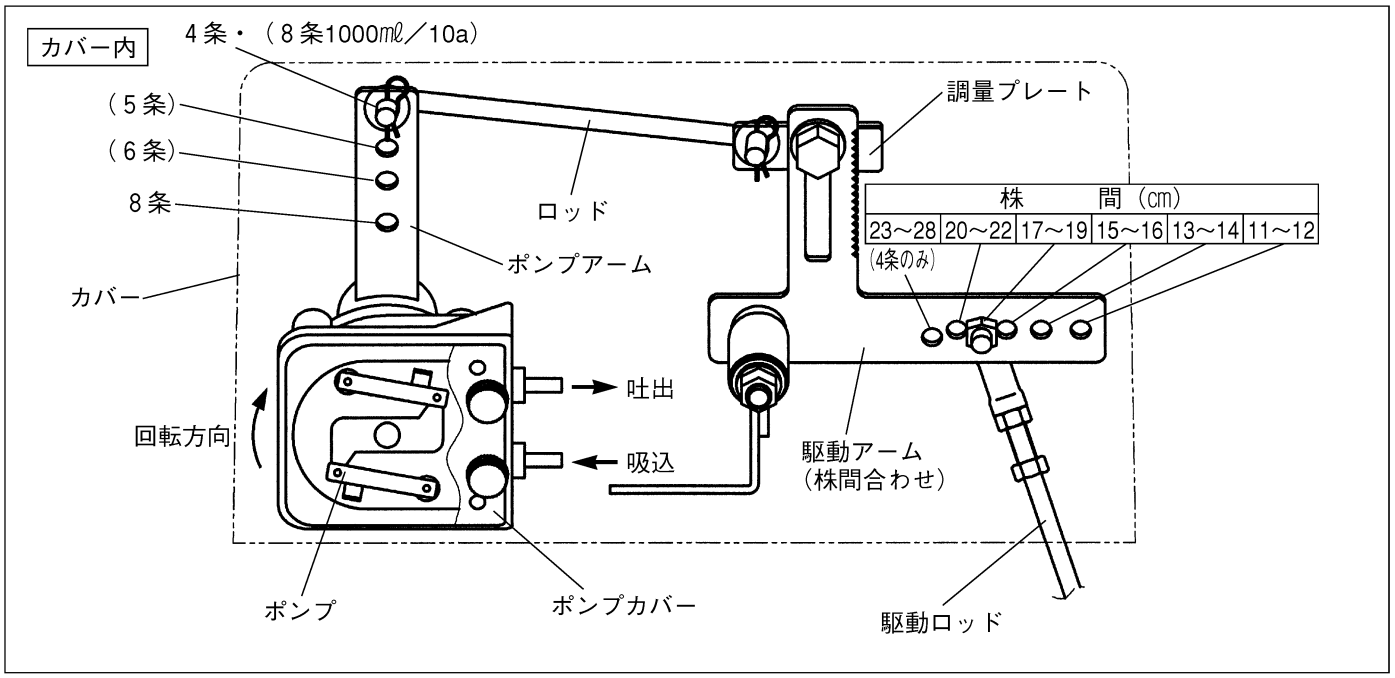
3．各部のはたらき



［4条型］

［8条型］





(1) **タンク**　・タンク容量は２Ｌです。ネジ蓋をはずし，中蓋の中央穴に吸込ホースのパイプを差し込んで使用します。

(2) **吸込ホース**　・斜めにカットされたパイプ側をタンク内に差し込みます。

(3) **吐出ホース**　・ここからフロアブル剤が滴下されます。

(4) **カバー**　・左右のノブボルトを緩めることで取外しができます。取付時はしっかりとノブボルトを締めてください。

(5) **ポンプ**　・内部のローラをチューブに押し付け回転させることでフロアブル剤を滴下します。

(6) **ポンプカバー**　・ポンプ内チューブの固定及びポンプ内への泥の進入を防止します。チューブ交換時はこのカバーを外して行います。チューブ交換後はこのカバーを取付けてください。

＊作業中は必ずこのカバーを取付けてください。ポンプが正しく作動しません。

(7) **ポンプアーム**　・田植機の条数に合わせて，ロッドを取付けます。（上図参照）

(8) **駆動アーム**　・田植機の株間に合わせて駆動ロッドを取付けます。（上図参照）

(9) **調量プレート**　・滴下量の設定の時に使用します。

＊詳しくは「**滴下量の調節**」（７ページ）を参照してください。

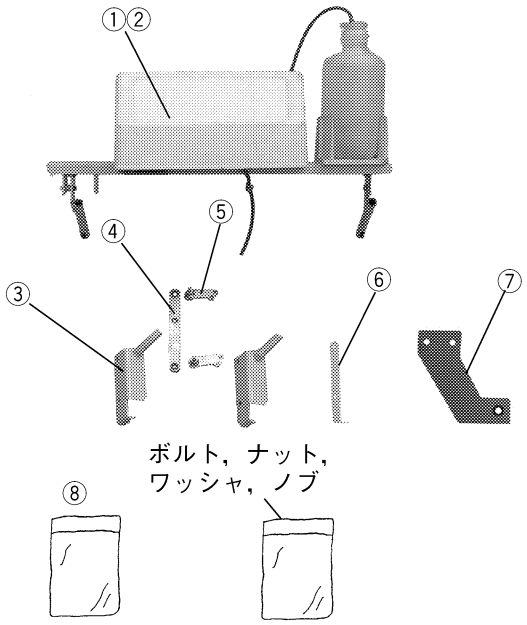
(10) **駆動ロッド**　・田植機の動力を散布機へ伝えるロッドです。

⚠警告　傷害事故防止のために

◆運転中は作動部に手・指や足を近づけないでください。

取付けかた

1．キット部品の明細（一覧表と部品を照らし合わせてください。）



部　品　名　称		個数
滴下マン組立品	①	1
駆動ロッド（組立品付）	②	1
ステー	③	2
プレート	④	1
アーム	⑤	2
プレート（4条専用）	⑥	1
プレート	⑦	1
取扱い説明書	⑧	1
ボルト，ナット，ワッシャ，ノブ		一式

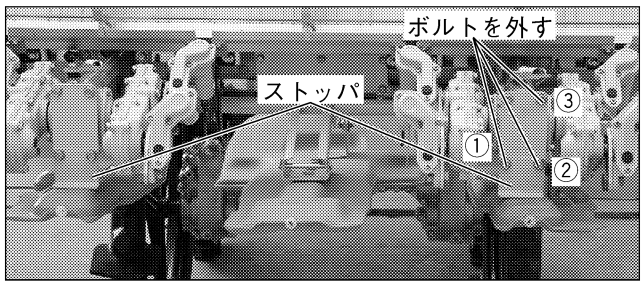
2．取付要領

1．駆動部組立品の取付け

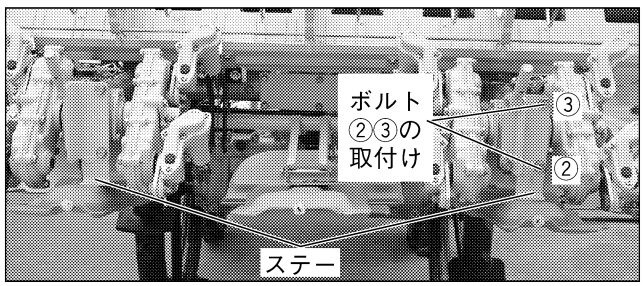
❶　左右のプランタケース後部の（フロート）ストッパを外して，ステーを取付けます。

・ボルト①と②を外してストッパを取外します。（4条型）
　ボルト①を締付けます。

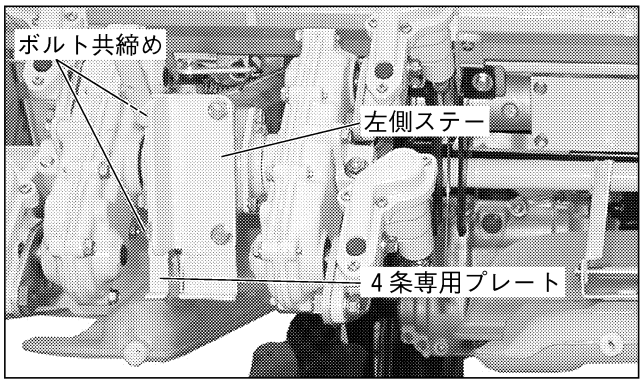
・次にボルト③を取外します。



・ボルト②，③によりステーを取付けます。



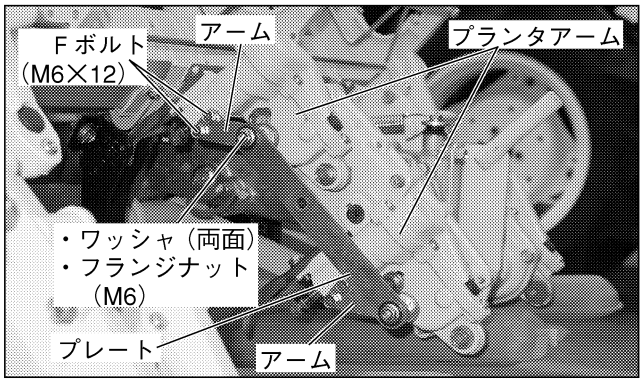
・4条型の左側ステーには，4条専用プレートをボルトを共締めにして取付けます。



❷　機体左側から3条目のプランタアームに滴下マン駆動用アームとプレートを取付けます。

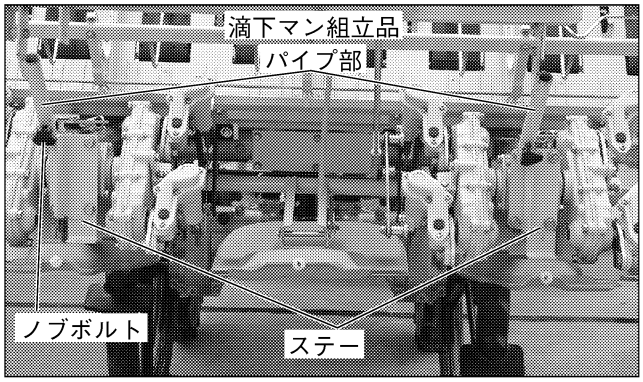
・アーム(2個)はFボルト(M6×12)で取付けます。

・アーム間をプレート（両面からワッシャを挟む）で連結し，フランジナット（M6）で締付けます。

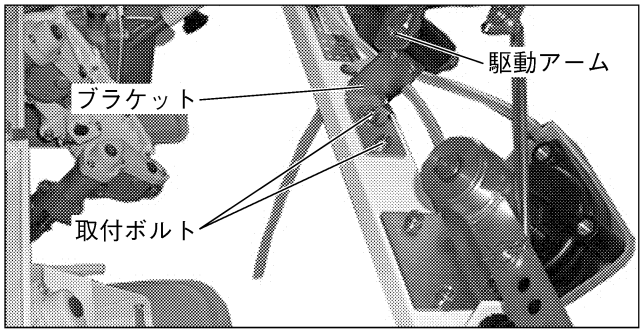


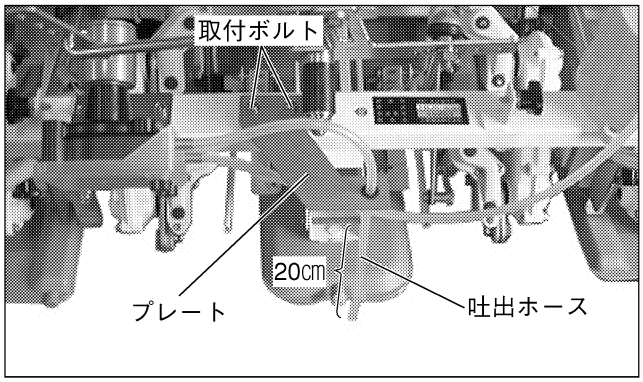
2．滴下マン組立品の取付け

❶　左右のステーに滴下マン組立品を取付けます。
・組立品のパイプ部をステーに差し込みノブボルトで締付けます。



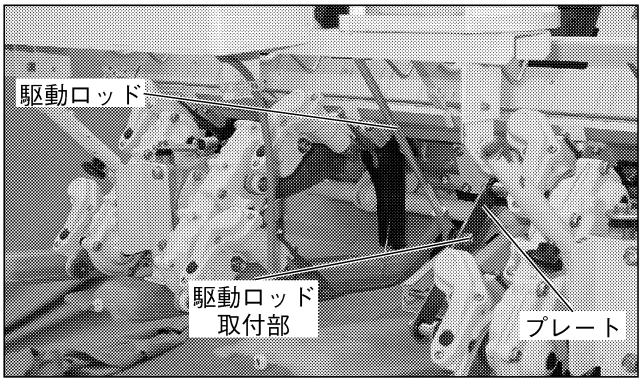
❷　ポンプ部駆動アーム取付ブラケットのボルト2個（M6×16）を外し，プレート⑦を共締めにして取付けます。プレートの穴に吐出ホースを差し込み，20㎝程度引出します。

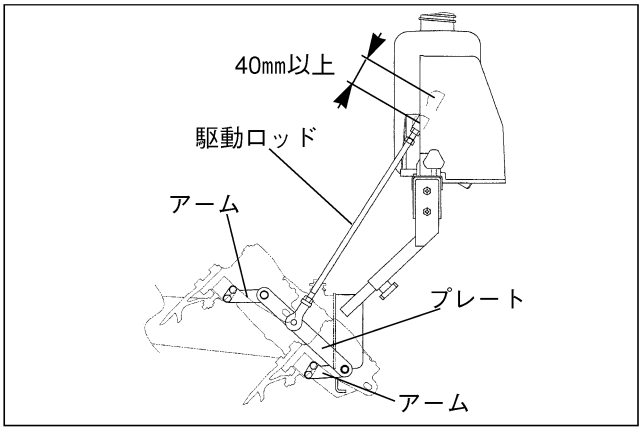


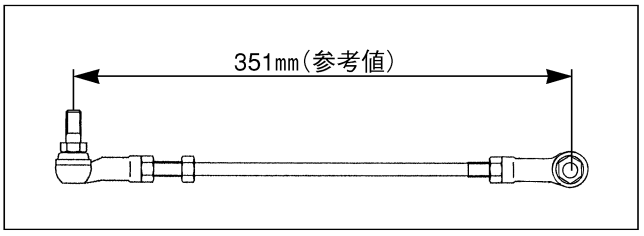


3．駆動関係の接続

❶　滴下マン組立品の駆動ロッドの他端をプレートの穴にナットで取付けます。
・株間によって穴位置を決めます。（6ページ参照）
・ロッドの長さは駆動アームが水平に対して上下均等に動くように調整します。







4．組立後の確認

❶　各ボルト・ナットが確実に締付けられているか確認します。

❷　植付部をゆっくり動かして，各部が干渉してないことを確認します。

❸　駆動ロッドのストロークが40㎜以上あることを確認します。

作業のしかた

1．機械の調節

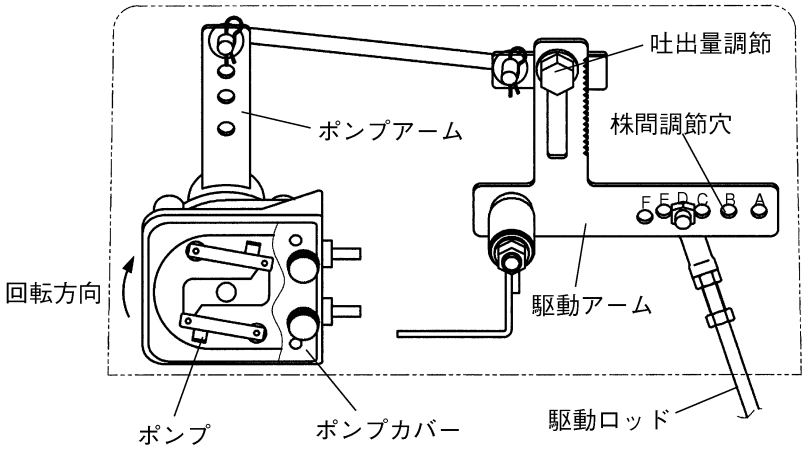
⑴ 駆動ロッドの長さ調節

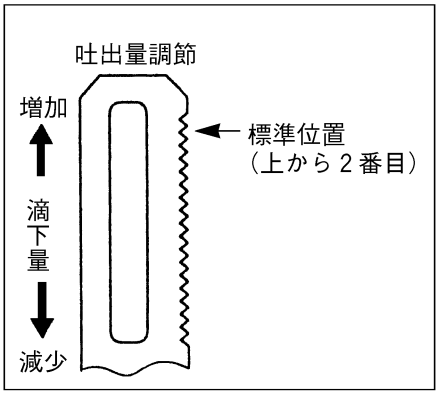
❶ 駆動アームが上下に均等に動くように駆動ロッドの長さをターンバックルで調整してください。

❷ 滴下する時は，カバーを被せて使用します。

⑵ ポンプの手動運転

❶ 株間セット，吐出量の調節は下記の要領にて行います。





（cm）

穴	A	B	C	D	E	F
株間	11～12	13～14	15～16	17～19	20～22	23～28 4条のみ

❷ 吐出ホースの先から薬剤が出るまで，予めポンプを運転しておきます。植付と同時に薬剤が吐出されるようにします。

イ．苗を補給する前に植付部を動かし，滴下するのを，確認してから苗を補給してください。

ロ．手動での運転は，駆動アームから駆動ロッドを外して駆動ロッドの伝達を切り，駆動アームを手で上下に動かしますと，ポンプが回転して薬剤が出るのを確認します。確認後，元通りに駆動ロッドを駆動アームに固定して，田植え作業を開始します。

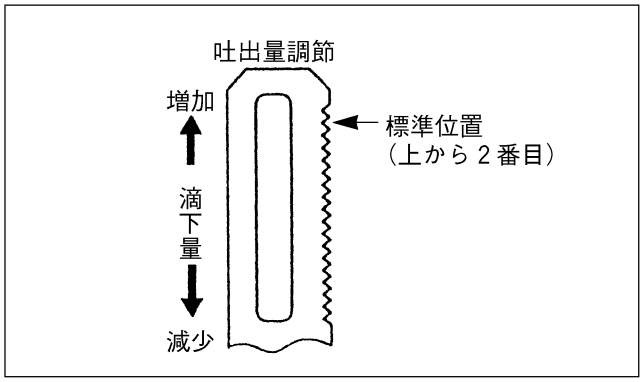
2．滴下量の調節

(1) 使用する田植機の株間に合わせて滴下マンの駆動ロッドの取付位置を合わせます。

❶ 滴下量が500㎖／10ａの場合

（出荷時には500㎖／10ａのチューブが装着されています）

調量プレートを上から2番目の目盛り位置に合わせます。（標準）



❷ 滴下量が1,000㎖／10ａの場合

1,000㎖／10ａ滴下するときは，ポンプ内のチューブを交換する必要があります。

以下の要領に従って交換してください。

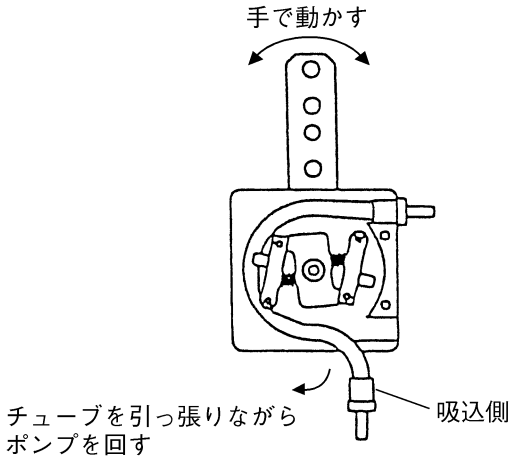
イ．チューブの取外しかた

・ポンプアームからロッドを外します。これにより手でポンプアームを動かし，ポンプを回転させることができます。

・ポンプカバーを取外します。

・右図の要領で吸込側のチューブを引っ張りながらポンプを回転させてチューブを取外します。

（必要以上に強く引っ張ったりしてチューブに傷をつけないよう注意してください。）



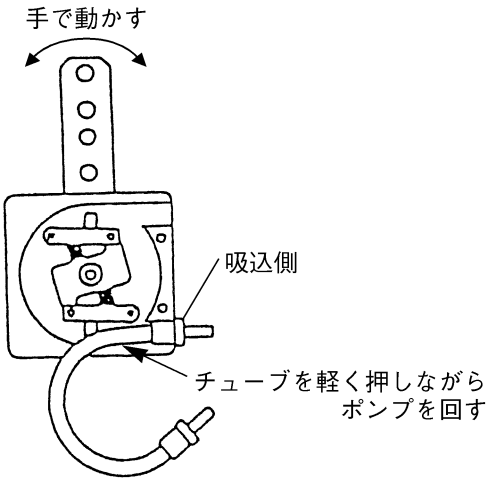
ロ．チューブの取付けかた

・吸込側の溝にチューブをはめます。

・チューブを軽く押しつけながら，ポンプを回転させて取付けます。

・ポンプカバーを取付けます。

・ロッドをポンプアームに取付けます。



ハ．調量プレートを500㎖／10ａの場合と同様に合わせます。

⑵　微調整の仕方

　調量プレートを標準の位置から上下へずらすことによって行います。

　上にずらす→滴下量が増える

　下にずらす→滴下量が減る

＊調量後はボルトをしっかりと締めてください。

⑶　ポンプアーム100ストローク当たりの吐出量は右図のようになります。

　もし計量して差が大きいようでしたら調量プレートで微調整してください。

吐出量（mℓ）

株間穴	株間	散布量					
		10ａ当たり500mℓ			10ａ当たり1,000mℓ		
		4条型	8条型	8条33㎝	4条型	8条型	8条33㎝
A	11	14	29	32	29	58	64
	12						
B	13	17	34	37	34	67	74
	14						
C	15	19	38	42	38	77	85
	16						
D	17	22	43	47	43	86	95
	18						
	19						
E	20	26	50	55	50	100	110
	21						
	22						
F	23	29	－	－	58	－	－
	25						
	28						

3．滴下作業のしかた

❶　田植機の植付作業と連動しますので，植付作業を開始すると滴下が始まり，植付を止めると滴下も止まります。途中で空気が入っても，ポンプの吐出には影響しません。空気がそのまま吐出されます。ポンプ内（チューブ内）に入っている薬剤量は約20mℓです。この量の散布面積は10ａ当たり500mℓの場合40㎡です。従って，植付作業で最後の40㎡になったらタンクを外して運転すると薬剤を全量有効に使用できます。

❷　ポンプの構造上，本機を動かしてから滴下を始めるまで時間がかかりますので，苗を補給する前に植付部を動かし，滴下するのを，確認してから苗を補給してください。

　チューブ内に薬剤が充満しないうちに，田植えを行いますと，初めの40㎡分は薬剤が散布されません。（一度滴下が確認できればタンクを空にしない限り，植付部の空運転の必要はありません。）

手入れのしかた

1．毎日の使用後の手入れ

⑴　機械は水洗いして泥，薬剤を落としてください。

⑵　タンク内に清水を入れ，ポンプ内に清水が充満するまで運転してください。

2．格納時の手入れ

⑴　よく水洗いをし，付着している泥や薬剤を取除いてください。

　ポンプは清水で運転をして，ポンプ内のチューブはポンプから取外してください。（チューブがつぶれた状態で保管され，ポンプが正常に作動しなくなります。）

⑵　リンク，ロッド等の摩擦面にはグリスを塗布してください。

⑶　各部のゆるみ等を調べ，増し締めを行なってください。

⑷　十分乾燥させてから収納してください。

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機の型式と機械番号（製造番号）は…？

型 式 名

機械番号（製造番号）

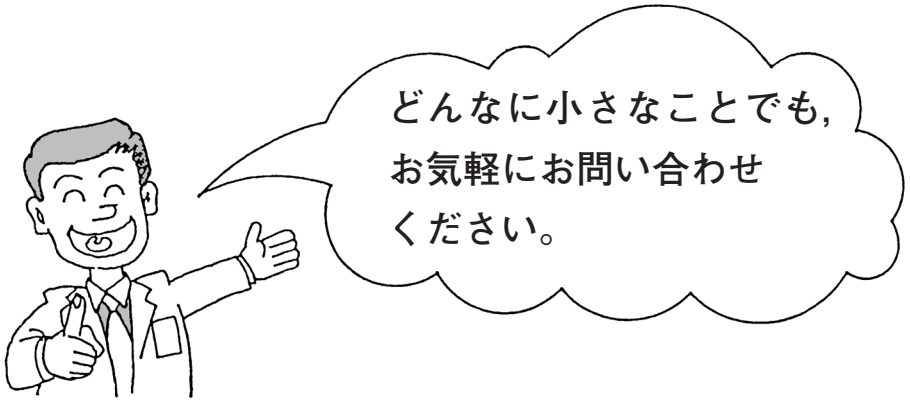
●ご使用状況は…？

（どんな作業のとき）

●どのくらい使用されましたか？

（約 ＿＿＿＿ アール使用後）

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。



（ご相談窓口）お買いあげ先

ＴＥＬ　　（　　）

No.030601-26858191000